

News Release



RISURU

©2003, 2020 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L610088



2023年10月25日

たましん中小企業景況調査報告 Vol.194

多摩信用金庫（本店：東京都立川市 理事長：金井雅彦）は、取引先中小企業の景気動向について、四半期ごとに調査を実施しております。今般、2023年8月に実施した調査結果を『多摩けいざい』第106号にて公表しました。

なお、『多摩けいざい』は当金庫各営業店の店頭で配布しているほか、たましん地域経済研究所ホームページ (<https://www.web-tamashin.jp/rire/>) からご覧いただけます。

調査について

1. 調査実施日 2023年7月28日～8月30日
2. 調査方法 調査員による聞き取り調査
3. 調査対象 多摩信用金庫のお取引先 1,073 先
4. 回答先数 1,066 先
5. 回答先内訳 下表のとおり

従業者規模	全業種		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率
1～4人	326	31%	52	17%	23	26%	97	57%	67	28%	42	24%	45	54%
5～9人	226	21%	57	18%	22	25%	30	18%	45	19%	54	31%	18	22%
10～19人	176	17%	78	25%	22	25%	11	7%	19	8%	35	20%	11	13%
20～29人	100	9%	36	12%	7	8%	10	6%	20	8%	21	12%	6	7%
30～39人	54	5%	23	7%	1	1%	8	5%	15	6%	6	3%	1	1%
40～49人	34	3%	17	5%	1	1%	1	1%	8	3%	7	4%	0	0%
50～99人	85	8%	34	11%	6	7%	12	7%	27	11%	5	3%	1	1%
100～	65	6%	15	5%	6	7%	0	0%	39	16%	4	2%	1	1%
合計	1,066	100%	312	100%	88	100%	169	100%	240	100%	174	100%	83	100%

調査結果の概略

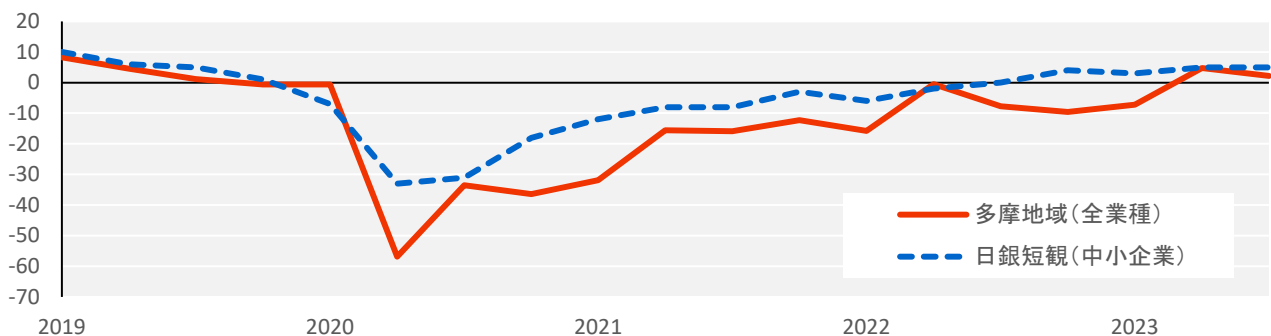
<業況概況>

- 今期の全業種業況 DI は、前期より 3 ポイント下降の 2 となった。経済活動の正常化の流れは継続しており、インバウンド需要の回復も見られている一方で、物価上昇に伴う消費の縮小、原油高や円安の進行などを背景にした原材料価格・仕入価格の上昇が続き、景況感を下押しする要因となっている。
- 業種別に見ると、小売業を除く 5 つの業種で、業況 DI が前期より下降したものの、5 業種いずれもプラス圏に留まっている。唯一業況 DI が改善した小売業では、前期より 2 ポイント上昇のマイナス 6 となり、来期はプラス圏に転じる見通しとなっている。
- 規模別に見ると、中規模企業が前期より 6 ポイント下降の 13、小規模企業は前期と変わらずマイナス 8 となっている。

		2023.3	2023.6	2023.9	変化幅	2023.12 (見通し)	変化幅
全業種	計	-7	5	2	-3	5	+3
	中規模	4	19	13	-6	16	+3
	小規模	-18	-8	-8	0	-6	+2
製造業	計	-3	3	1	-2	5	+4
	中規模	11	20	8	-12	17	+9
	小規模	-13	-8	-3	+5	-3	0
卸売業	計	-3	2	1	-1	7	+6
	中規模	8	10	8	-2	11	+3
	小規模	-27	-18	-19	-1	-5	+14
小売業	計	-24	-8	-6	+2	1	+7
	中規模	-9	11	14	+3	21	+7
	小規模	-35	-23	-21	+2	-14	+7
サービス業	計	-10	8	3	-5	5	+2
	中規模	-3	17	10	-7	10	0
	小規模	-26	-13	-14	-1	-7	+7
建設業	計	0	16	10	-6	9	-1
	中規模	33	47	43	-4	44	+1
	小規模	-10	6	-1	-7	-2	-1
不動産業	計	-1	7	4	-3	2	-2
	中規模	8	18	13	-5	8	-5
	小規模	-9	-3	-3	0	-3	0
日銀短観(中小企業)		3	5	5	0	4	-1

※ 中規模企業：本調査では、製造業・建設業においては従業員 20 人以上の企業、卸売業・小売業・サービス業・不動産業においては 5 人以上の企業と定義しています。

<業況 DI の推移>



以上